

平成 2 1 年

第 8 回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成21年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、議会の皆様にご報告申し上げます。

はじめに、主要事項についてご報告申し上げます。

本年の水稲の作柄について申し上げます。

本年は7月中旬までは、おおむね天候に恵まれました。しかしその後は天候不順となり大変心配しましたが、秋田県南地区の作況指数は「101」（10月15日現在）の平年並みとなっております。

11月25日現在のJA秋田おぼこ管内の1等米比率は98.4%、仙北市管内では98.0%となっており、収量・品質とも概ね良好となっております。

次に、この度の一般会計補正予算について申し上げます。

補正額は、1億9,074万3千円で、これに既定予算を加えますと補正後の額は、196億6,338万4千円となります。

歳出の主なものは、地方道路整備臨時交付金事業費、道路維持補修費、住宅・建築物安全ストック形成事業費、防災情報通信設備整備事業費、小中学校施設整備事業費、補助災害復旧事業費等であります。

次に、平成22年度の財政見通しについて申し上げます。

国政におきましては、今まで経験したことのない政権交代という劇的な変化を迎え、従来の行政運営、行政手法、さらには、ガソリン税などの暫定税率の廃止をはじめ、税制の抜本的見直しなど国家予算制度についても大幅な変更がなされようとしてされており、その具体的な内容や地方に対する財源措置等については未だ不透明な状況にあります。

仙北市の平成22年度の財政見通しにつきましては、歳入面では、自主財源の根幹を成す市税のうち、市民税が経済危機の影響による減収が見込まれるほか、たばこ税や入湯税についても落ち込みが予

想されます。また、一般財源の大きなウエイトを占める地方交付税は、原資となる国税も大幅な落ち込みが予想され、加えて、国の財政調整のための基金も残りわずかとなっていることから、地方財政対策に必要な一般財源総額を国がどの程度確保するのか、その動向如何によっては財源不足も懸念されるところであります。

一方、歳出面では、社会保障関係費が年々増加するとともに公債費が依然として高い水準にあることから、多額の財政調整基金の取り崩しに頼った予算編成が常態化し、義務的経費が政策的経費を圧迫する硬直的な財政構造が続いております。さらに、資金繰りの危険度を示す実質公債費比率は、県内市町村の中でも極めて高い水準にあるなど、本市の財政状況は、構造面、負債面で喫緊の課題を抱えており、引き続き慎重な財政運営が必要とされているところであります。

平成22年度の予算編成に当たっては、こうした厳しい財政状況の下、国の動向や経済情勢等を的確に把握しながら、市税等の収納率の向上や遊休資産の売却等による自主財源の確保に努めて参ります。

また、マニフェストを着実に推進するための新たな財源を生み出すため、現行の事務事業の見直し・組み替えをゼロベースから行い、一切の無駄を排し、「施策の選択と集中」による事業と財源の重点化を図り、効率的かつ効果的な財政運営に努めて参ります。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を報告申し上げます。

## 【総務部】

### ◇西明寺地区デマンド型乗合タクシー試験運行について

交通空白地域の解消と秋田内陸線への二次アクセス改善を図るため、10月1日から、西明寺地区デマンド型乗合タクシーの試験運行がスタートしております。

乗合タクシーは、予約に応じて運行するもので、小山田線・小淵野線の運行経路を1日4便、25カ所の停留所を設け、秋田内陸線

西明寺駅を經由して、小山田・小湊野地区を循環する方式で、料金については、市民バスと同一に設定しております。

10月31日までの利用について、小湊野線6名、小山田線ゼロと利用実績が低いことから、運行日、便数の見直しを行い、12月7日から増便による運行を開始することとし、12月1日発行の仙北市広報と一緒にチラシを配布して、周知を図ったところであります。

本事業は、3月までを試験運行期間として、半年間の実績を踏まえたうえで、来年度以降の本格運行に備えることにしております。

#### ◇秋田内陸線について

11月25日に、秋田内陸縦貫鉄道株式会社臨時株主総会が行われ、会社から21年度上半期における営業状況等について説明がありました。

上半期における営業状況につきましては、輸送人員は対前年同期比1,733人(0.7%)減の25万913人となり、運輸収入については、1億845万8千円で6.9%の減となりました。

#### ◇「株式会社アロマ田沢湖」について

去る11月19日、JR東日本から株式会社アロマ田沢湖に係る支援について、引き揚げの方針で検討している旨の説明がありました。

具体的な内容としては、非常勤監査役の辞任並びに株式会社アロマ田沢湖への出資額4,000万円のうち、JR東日本が出資している4パーセントを譲渡したいというものでした。

現在アロマ田沢湖の出資団体は、仙北市、JR東日本の2団体であり、JR東日本が引き揚げすることになれば、民間共同出資による第三セクターの形態そのものが崩れてしまうなど、株式会社アロマ田沢湖の存続に関わる問題であります。市としては、検討する時間をいただいておりますが、今後、JR東日本と協議を重ねるとともに、議会ともご相談しながら「株式会社アロマ田沢湖」のあり方について、結論をだして参りたいと考えております。

## 【市民福祉部】

### ◇火災発生について

9月に4件、10月に1件、11月に2件の火災が発生しております。このうち、家屋の全焼が2件発生しております。今後とも、火の元には十分注意していただくよう、啓発活動に努めて参ります。

### ◇キノコ採り等の遭難について

9月に1件、10月に2件、11月に1件の遭難が発生しております。

9月と11月に発生した遭難については自力下山をしておりますが、10月に発生した2件については、発見に至らず、また10月下旬に発生した遭難については、気温の急激な変化に伴う降雪が予想される悪条件の中で、不明者の生死にかかる一刻の猶予もならない状況にあり、専門的な訓練を積んだ捜索が必要と判断し自衛隊の派遣を要請し捜索活動をしましたが、残念ながら発見には至りませんでした。

今後とも、関係機関と連携し、入山等には十分注意していただくよう、遭難防止の啓発活動に努めて参ります。

### ◇台風18号の被害について

10月8日の台風18号による被害については、一般住家、非住家の屋根トタン剥離等が95棟、公共・文教施設の屋根トタン剥離等が13棟、倒木55箇所、看板破損等が13箇所、ビニールハウスのビニール破れ等が85棟となっております。

### ◇福祉施設民営化について

福祉施設の民営化として取り組んでおります「田沢湖デイサービスセンター」の指定管理者制度への移行について、指定管理候補者選定委員会の選定結果をもとに指定議案を提案しております。

また、市民浴場「東風の湯」についても指定管理候補者選定委員

会の選定結果をもとに議案を提案しておりますので、よろしくご審議をお願い申し上げます。

## 【産業観光部】

### ◇雇用状況について

ハローワーク角館管内における10月末現在の有効求人倍率は、0.23倍と4月比では0.05ポイント改善しておりますが、前月比では0.01ポイント下回り、厳しい雇用情勢となっております。

また、ハローワーク大曲（ハローワーク角館を含む）管内の来年3月の高校卒業予定者の就職状況は、10月末現在、就職希望者334人に対し、就職内定者は218人、内定率は、65.3%。この内、県内就職内定者は90人、内定率は、41.3%となっております。引き続き、ハローワークや秋田県、隣接市町と連携しながら、就職面接会の開催等求人情報の迅速な提供などによって、雇用の場の確保や就労支援等に取り組んで参ります。

なお、このような状況下での緊急支援措置として、新規に常用労働者を雇用した事業主に対し、一定の要件のもとに緊急雇用助成金を交付し、雇用の場の確保と、雇用機会の拡大を図るための補正予算を計上しておりますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます。

### ◇地域雇用創造推進事業について

厚生労働省より事業採択の内定をいただいておりますが、この度、地域再生計画の認定を受け、12月1日付けで、厚生労働省と仙北市雇用創造推進協議会が正式に委託契約を締結いたしました。

今後3年間にわたって、「観光振興」、「農林業振興」、「商業物産振興」の3つの分野で、地域求職者等の能力開発や人材育成を図るためのセミナーや就職面接会の開催、ホームページによる情報提供等、地元経済団体等と一体となって、事業を着実に実施し、雇用機会の創出に取り組んで参ります。

## ◇木質バイオマス事業について

木質バイオマス建設事業につきましては、建築確認の許可がおり工事も順調に進捗し、新年3月25日の完成に向けて鋭意努力しております。

### 【建設部】

## ◇工事等発注状況について

11月末現在の建設部の工事発注状況は建設課が88件、都市整備課が9件、下水道課が20件で総事業の91%となっております。なお、今後予定されている事業については、要件が整い次第発注したいと考えております。

### 【市立病院】

## ◇仙北市立病院等改革推進計画検証市民委員会の開催について

平成21年3月に策定した「仙北市立病院等改革推進計画」については、両市立病院を中心に計画の達成に向け、改革を進めているところでありますが、併せて、市民及び有識者による検証等を行い、取り組みの客観性の確保に努めるとともに、透明性を図る観点から、積極的な情報開示を行うこととしております。

去る11月30日には、第1回目の検証市民委員会を開催したところでありますが、市民感覚からの貴重なご意見をいただいたところであり、引き続き、有識者による検証を行い、これらの検証内容を踏まえ、一層の病院経営改革に努めて参りたいと考えております。

## ◇市立角館総合病院について

市立角館総合病院の改築に向け、業務委託により基本構想の策定作業を進めております。平成22年2月末の完成を目指し、現在、病院の現状調査、課題整理と分析を行っています。

## ◇おわりに

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております案件は、条例関係 2 件、補正予算関係 1 2 件、指定管理者関係 3 件の計 1 7 件であります。

何卒、慎重審議の上、全議案につきまして、ご可決賜りますようお願い申し上げます。